

■ シェルの素材は？

スモールJETは、安いものでは¥5,000前後から、高いものでは¥30,000近くするものまで、様々な種類のもので販売されています。しかしながら、そのシェルの素材は、安いものも高いものも、そのほとんどは安価で加工が容易な、熱可塑性樹脂（ABSなど）によって造られています。安全性に優れ、経年変化の少ないヘルメットに用いられる熱硬化性樹脂（FRP）によるものは、見受けることが少ないのが現状です。クラシックシリーズはもちろんFRP製です。しかもRX-7RR4にも使用されている、通常のファイバークラスよりも、引張り、圧縮強度とも30%以上高いスーパーファイバーを主原料として使用しています。だから軽量、コンパクトでいながら、安全性高いシェルをお届けできるのです。

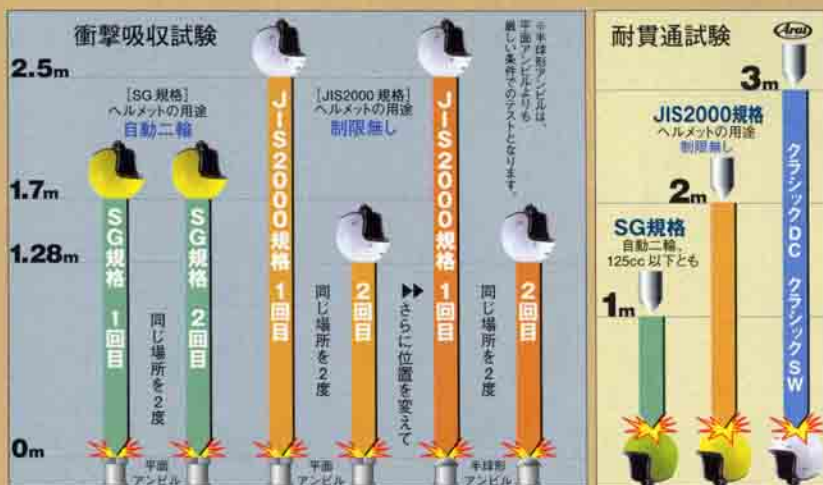


安心できるスモールJETとは

規格もしっかり見分けてください。

スモールJETの多くは排気量0.125ℓ 超自動二輪車での走行可能と表示して販売しています。日本国内で二輪車乗車用ヘルメットとして販売するには、SG規格をクリアしなければなりません。そのSG規格の排気量0.125ℓ 超自動二輪車乗車用ヘルメット基準の主な内容は、耐衝撃性においては旧JIS-B種と同じ、平面アンビルに対し1.7mの高さから2回落下させ、300G (2,940m/s²) 以内の衝撃加速度に収めること。また、耐貫通性能に関しては、旧JIS-A種と同じ、ストライカを1mの高さから落下させ、貫通してはならないという内容です。クラシックシリーズが、SG規格の他にクリアしているJIS2000規格は、耐衝撃性に関しては、300G (2,940m/s²) 以内の衝撃加速度に収めることは同じですが、平面アンビルに加え、衝撃に対し厳しい半球アンビルが加わり、落下高さも1回目2.5m、2回目1.28mと厳しくなります。耐貫通性能に関しても、ストライカの落下高さが2メートルからと厳しいものになっています。このようにSG規格と、JIS2000規格だけでも、大きな性能差があるものですが、クラシックシリーズでは、耐貫通性におけるストライカの落下高さを、スネル規格と同じ3メートルにしてクリアしています。

クラシックシリーズは、クラシックSWが¥24,000、クラシックDCが¥25,000と、スモールJETの中では高価なものです。高価なものだからこそ、高い安全性という安心をお届けしています。



- モデル名: **クラシックDC**
- 規格: JIS規格 ●帽体: SFL構造
- カラー: フラットシルバー、フラットグレー、グラスホワイト、グラスブラック
- サイズ: (55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- 標準小売価格: ¥25,000 (税込 ¥26,250)



- モデル名: **クラシックSW**
- 規格: JIS規格 ●帽体: SFL構造
- カラー: プライツシルバー、白、シャインアイボリー、ファインレッド、プロテインブラック
- サイズ: (55-56)、(57-58)、(59-60)、(61-62)
- 標準小売価格: ¥24,000 (税込 ¥25,200)

(注: SG規格とは消費生活用製品安全法「乗車用ヘルメットの認定基準及び試験方法」CPSA 004」のこととさせていただきます。)